

——7年8カ月に及んだ安倍晋三政権をどうみますか。

山口 日本では1990年代から政治権力を集中させる制度改革が行なわれてきました。人口減少や経済構造の変化など大きな政策課題を解決するには、従来型の各論反動的なシステムでは対応できないとの考えからです。

90年代の自民党は、戦争経験者が活躍していたので正気を保っていました。だから、権力を集中させることがファシズムにつながるという危機感がなかったのです。

小泉純一郎政権(2001~06年)は、郵政民営化を争点にした解散など、権力をフルに使って民営化や規制緩和を進め、それはそれで罪が深いのですが、小泉氏はイデオロギーがあまりない人だから、改憲など政治の根幹に関わる点には触れませんでした。

安倍政権は、集中された権力をフルに悪用して政治の土台部分に手をつけ、戦後民主主義の枠組みを壊したと私は把握しています。

飛ばなかった3本の矢

水野 安倍さんは2013年に3本の矢を唱えますが、みなさん覚えているでしょうか。安倍さんすら言えないのではないか(苦笑)。でも、①「異次元の金融緩和」で消費者物価は上がらない、②「財

政出動」で2年連続大型予算を組んだものの景気は回復せず、プライマリーバランス(基礎的財政収支)黒字化の目標年度を先送り、③「成長戦略」にいたっては平均2%程度の実質経済成長率を目指したものの約0.7%にとどまっています。試験でいうとすべてD評価で落第ですよ。

安倍さんは13年9月25日に米ニューヨーク証券取引所で「Buy my Abenomics」(アベノミクス

アトキンソン

北尾吉孝

竹中平蔵の

各氏らを重用

を買って」とスピーチしましたが、よく恥ずかしくないものです。

新3本の矢とか働き方改革など次々と出す政策はめくらまし。日経平均株価だけは約1万円(12年末)から約2万3000円(19年末)になりましたが、日本の株所有者は1割ぐらいですから、ほとんどの人には関係がありません。

3本の矢は最初から飛んでおらず、時間を浪費したただけでした。

山口 安倍政権はふわとした支持層に支えられてきました。世論調査の支持率は高かったけれど、政策的にも人柄でも否定的な数字が出ています。「他にない」という消去法で支持されたわけです。謎を解く鍵が内閣府の社会意識



水野和夫

みずの かずお・法政大学教授。1953年生まれ、早稲田大学政治経済学部卒業、埼玉大学大学院経済科学研究科博士課程修了。三菱UFJ証券チーフエコノミスト、内閣官房内閣審議官などを経て現職。専門は現代日本経済論。著書に「資本主義の終焉と歴史の危機」(集英社新書)など。

国富を外資に 売り飛ばす菅政権

安倍晋三政権の政策を継承するとした菅義偉政権が発足して1カ月半。日本学術会議問題で菅政権の性格が浮き彫りとなり、支持率が急降下している。安倍長期政権の問題点を振り返り、新政権の危険性を指摘する。